

2017年9月8日

第11回 真・報連相全国大会

「NHC と 真・報連相の  
これまでとこれから」

会場：京都メルパーク

糸藤正士

(研修の入り口で)

「名札」の目的は？

(研修の入り口で)

「山田さん。あなたは、  
なぜ、ここに居るのですか？」

(何をしに来たのですか?)

## (研修の入り口で)

① 「名札」の目的は？

② 「山田さん。あなたは、  
なぜ、ここに居るのですか？  
(何をしに来たのですか？)

# これからお話しする内容

## NHCと、真・報連相の

- ① これまでのこと
- ② これからのこと

# これからお話しする内容

## NHCと真・報連相の

- ① これまでのこと
- ② 現在： 真・報連相の理解を  
深めること
- ③ これからのこと

(1)

「これまで」  
のこと

## 糸藤の仕事歴

- 第一期 会社員23年間 46才で退職
- 第二期 リクルートの契約講師  
1年契約×12回 (修業時代)
- 第三期 58才で ようやく独立。  
「質の高い仕事の進め方」の研修を、  
真・報連相という名前で商品化する。  
~75才。



## 真・報連相の誕生

- ① かねて、質の高い仕事の進め方の情報を収集していました。
- ② 平成5年3月22日 一通の電話から  
…、以来 現在まで24年間
- ③ 平成5年7月に、初の報連相研修を実施。「5段階のレベル表」を創作。

# 平成5年7月 最初のレベル表

報・達・相レベル表  
(適用: 1. 1993-1994, 2. 1994-1995, 3. 1995-1996)

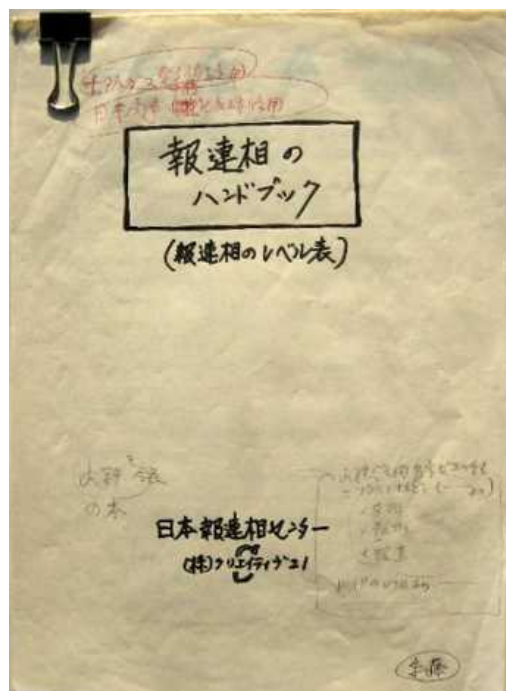
又 或定相調付部  
特別三本

区	報告	達	相
1区	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 報告書</li> <li>2. 1994-1995 報告書</li> <li>3. 1995-1996 報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 達</li> <li>2. 1994-1995 達</li> <li>3. 1995-1996 達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 相</li> <li>2. 1994-1995 相</li> <li>3. 1995-1996 相</li> </ul>
2区	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 報告書</li> <li>2. 1994-1995 報告書</li> <li>3. 1995-1996 報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 達</li> <li>2. 1994-1995 達</li> <li>3. 1995-1996 達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 相</li> <li>2. 1994-1995 相</li> <li>3. 1995-1996 相</li> </ul>
3区	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 報告書</li> <li>2. 1994-1995 報告書</li> <li>3. 1995-1996 報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 達</li> <li>2. 1994-1995 達</li> <li>3. 1995-1996 達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 相</li> <li>2. 1994-1995 相</li> <li>3. 1995-1996 相</li> </ul>
4区	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 報告書</li> <li>2. 1994-1995 報告書</li> <li>3. 1995-1996 報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 達</li> <li>2. 1994-1995 達</li> <li>3. 1995-1996 達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 相</li> <li>2. 1994-1995 相</li> <li>3. 1995-1996 相</li> </ul>
5区	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 報告書</li> <li>2. 1994-1995 報告書</li> <li>3. 1995-1996 報告書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 達</li> <li>2. 1994-1995 達</li> <li>3. 1995-1996 達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 1993-1994 相</li> <li>2. 1994-1995 相</li> <li>3. 1995-1996 相</li> </ul>

+ 5 - 報告書の作成 + 2 - 1区 - 1区 - 1区 - 1区 - 1区

# 「真・報連相のハンドブック」

平成5年8月 最初の  
ハンドブックの原稿



平成27年現在の  
ハンドブック



# 『真・報連相』のことがよくわかる本

(平成16年)

中堅社員

①



経営幹部・管理者

②



初級社員

③



PHPのDVD 監修糸藤 ④



# 過去最大のイベント シニア講師塾

5年半前の

2012年(平成24年)に名古屋で、  
「シニア講師塾」を2日間 開催。

約40名参加。大連、台湾、上海、  
ニューヨークからも参加あり。

(2)

# 「現在」のこと

(真・報連相の理解を深める)

‘できる人’がやっている

質の高い

# 「仕事の進め方」

秘訣は、**トリプルスリー**

(3・3・3) = 9項目です

① 「3つの視点」

「自己」「態度」「目的」という3つの視点で  
「手段・やり方」が適切に選べる

② 「3つの深度」

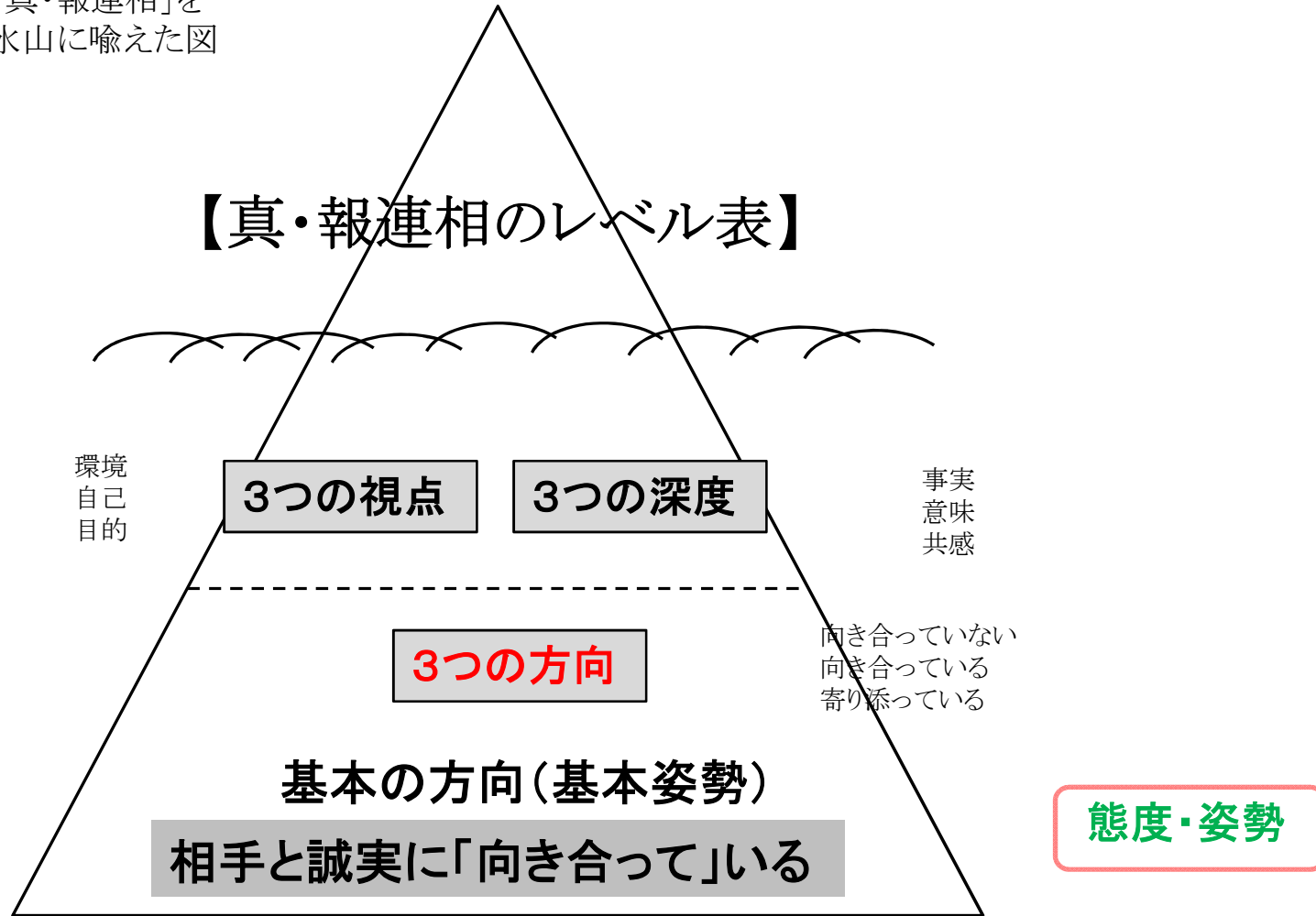
情報の共有化には、3段階の深さがある

③ 「3つの方向」

相手と向き合う姿勢には、3つの方向がある

「質の高い仕事の進め方」研究会 主宰  
コンサルタント 糸藤正士 著

「真・報連相」を  
氷山に喩えた図





## 「3つの方向」(自己の「振り返りポイント」)

- ①相手と、誠実に向き合っているか
- ②必要な場合には、  
相手に誠実に寄り添っているか
- ③相手と、誠実に向き合っていない、  
…このようなことはないか

## NHC の 会員への期待

- 報連相 = 仕事の進め方
- 真・報連相 =  
‘質の高い’ 仕事の進め方
- 会員は、まず、自分の仕事の進め方の質を 真・報連相で高めてください。  
質問：「例えば、…ようにして」

## NHC の 会員への期待

- 会員は、まず、自分の仕事の進め方の質を 真・報連相で高めてください。

例えば、 目的思考の実践。  
自己の視点。  
意味の共有化。  
自己の振り返り。・・・などで。

**A： 「真・報連相研修を実施する」**



**B： 「自分の研修に、  
真・報連相を取り入れる」**

「真・報連相研修を実施する」  
→ 「自分の研修に、  
真・報連相を取り込む」

- ① 研修の**内容**に取り込む
- ② 研修の**進め方**に取り込む

研修の進め方＝仕事の進め方  
(目的思考の実践。自己の視点。  
意味の共有化。自己の振り返り)

## 真・報連相の「レベル表」の 各項目 の水面下に

「3つの視点」、  
「3つの深度」、  
「3つの方向」、

が あることを、念頭においた  
解説なりレクチャーをする。

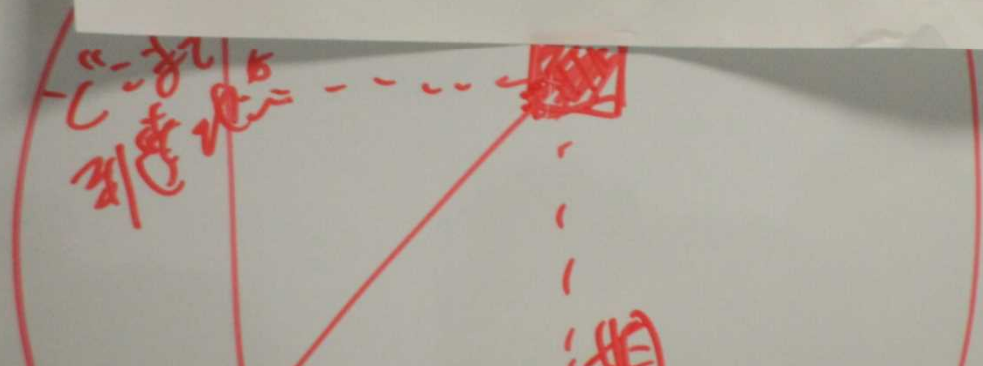
(質問⇒ 個人⇒ グループ⇒ 解説)

考

報連相は

仕事の進め方

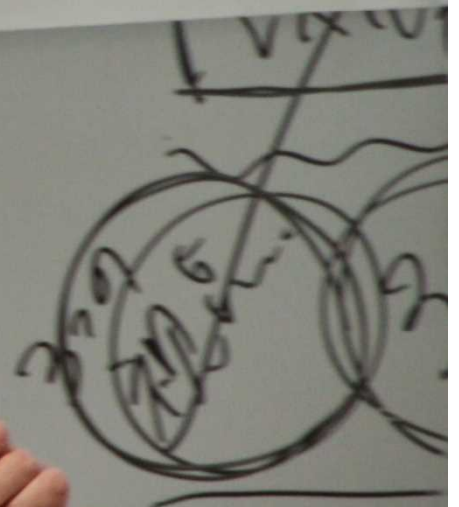
そのもの



人は誰でも  
理解欲求を持つ  
ワケを知りたい

# 情報の共有化の 3つの深度

- 深度1... 事実情報の共有化
- 深度2... 意味の共有化 目的
- 深度3... 思いの共有化 目的



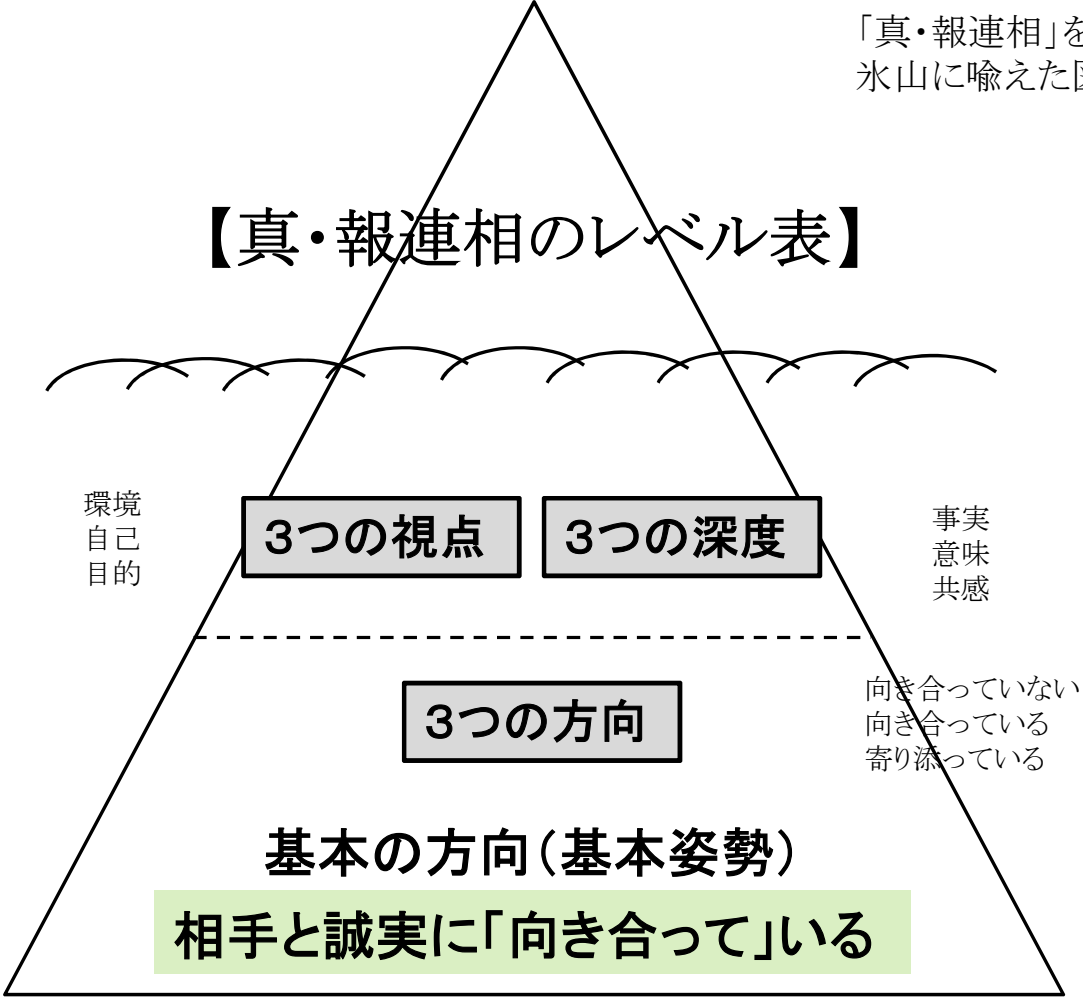




# 真・報連相の体系

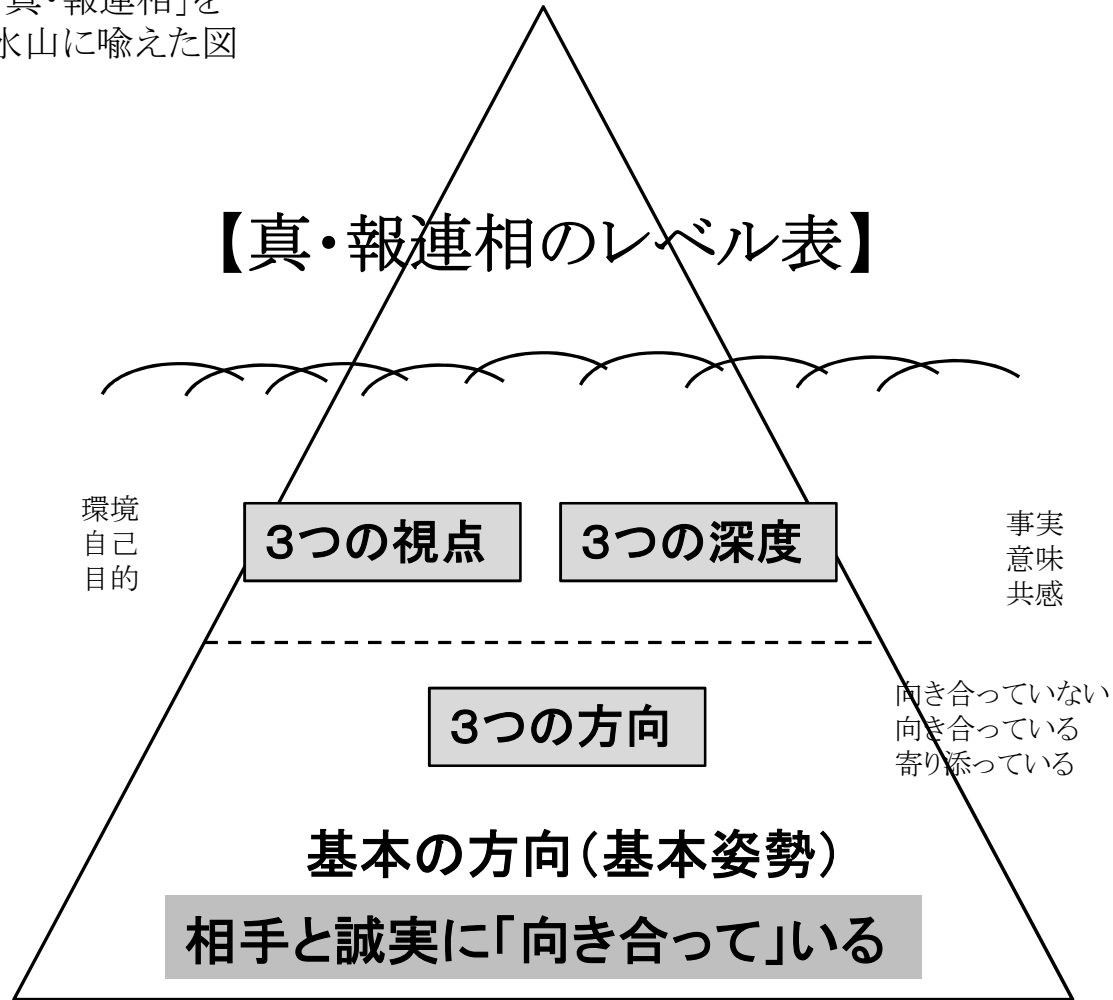
「真・報連相」を  
氷山に喩えた図

## 【真・報連相のレベル表】



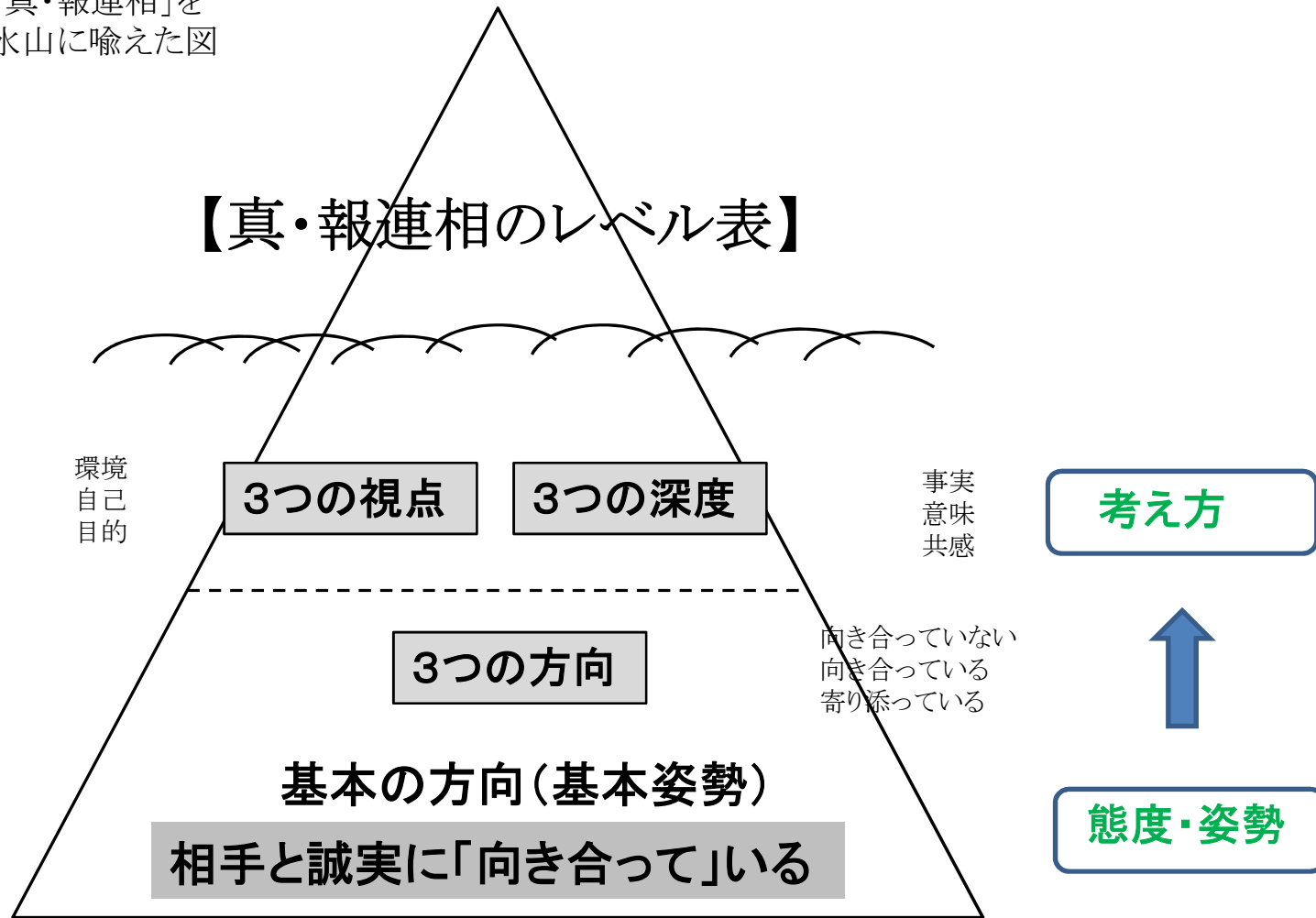
「真・報連相」を  
氷山に喩えた図

### 【真・報連相のレベル表】

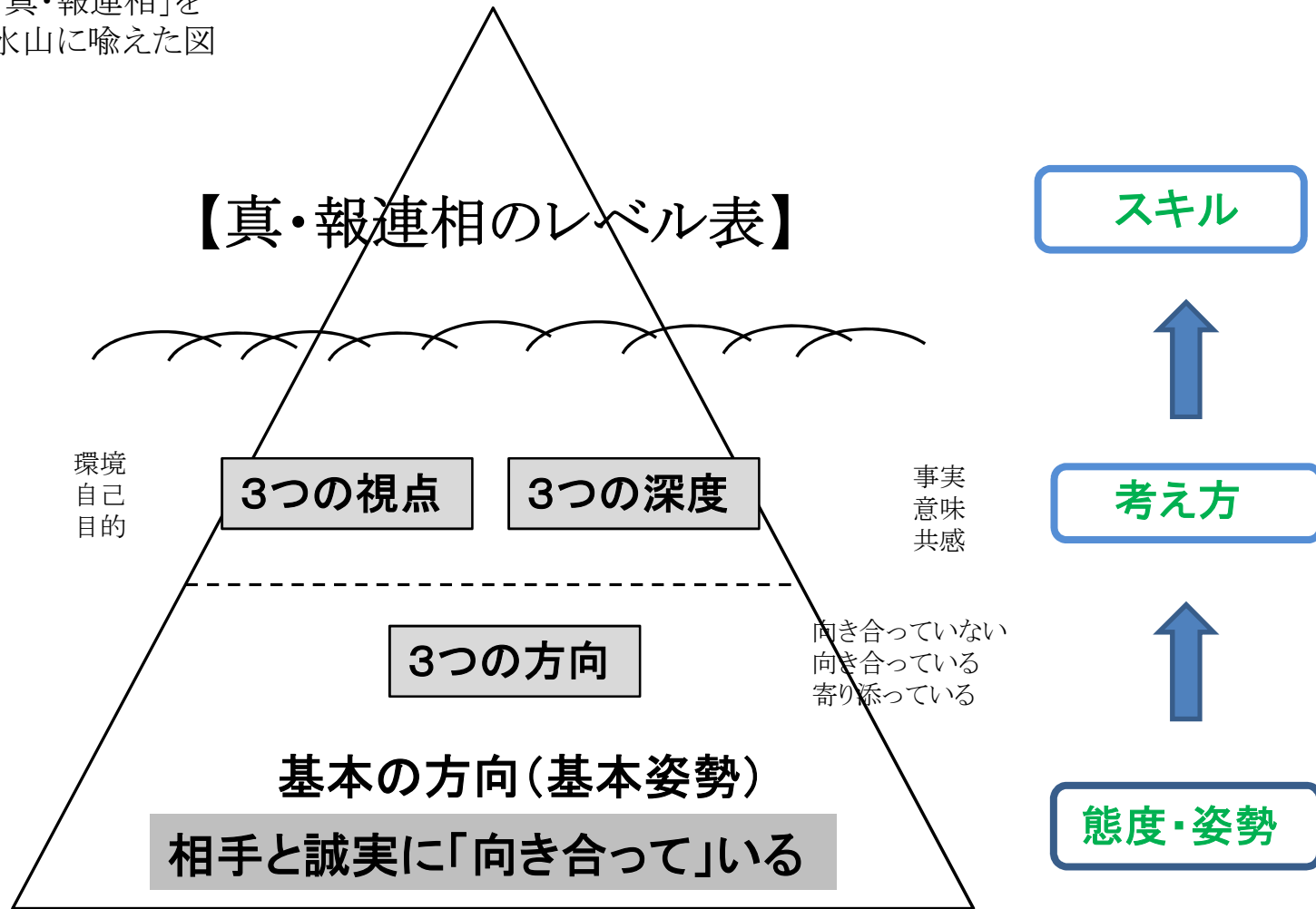


態度・姿勢

「真・報連相」を  
氷山に喩えた図

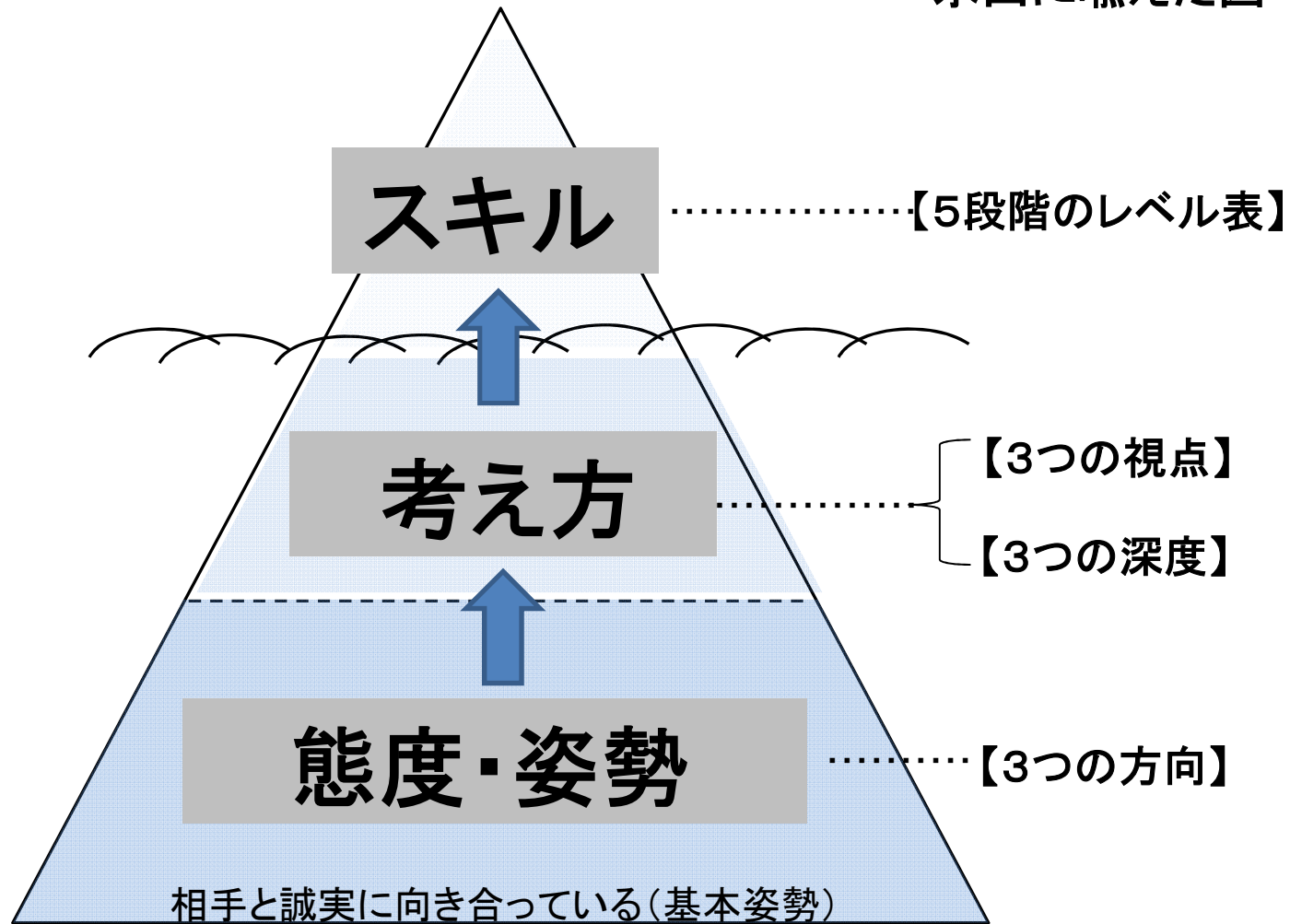


「真・報連相」を  
氷山に喩えた図



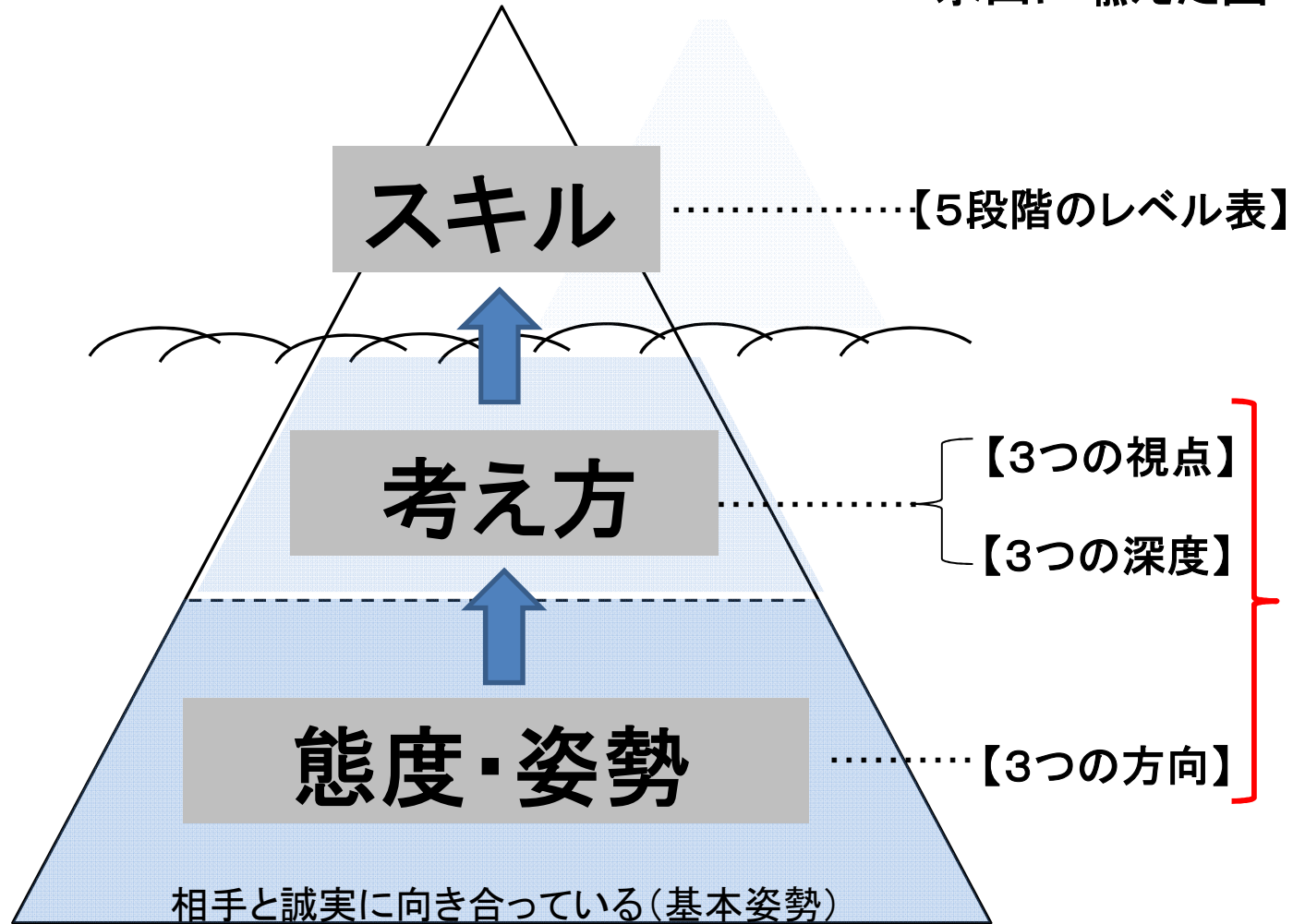
# 真・報連相の体系

「真・報連相」を  
氷山に喩えた図



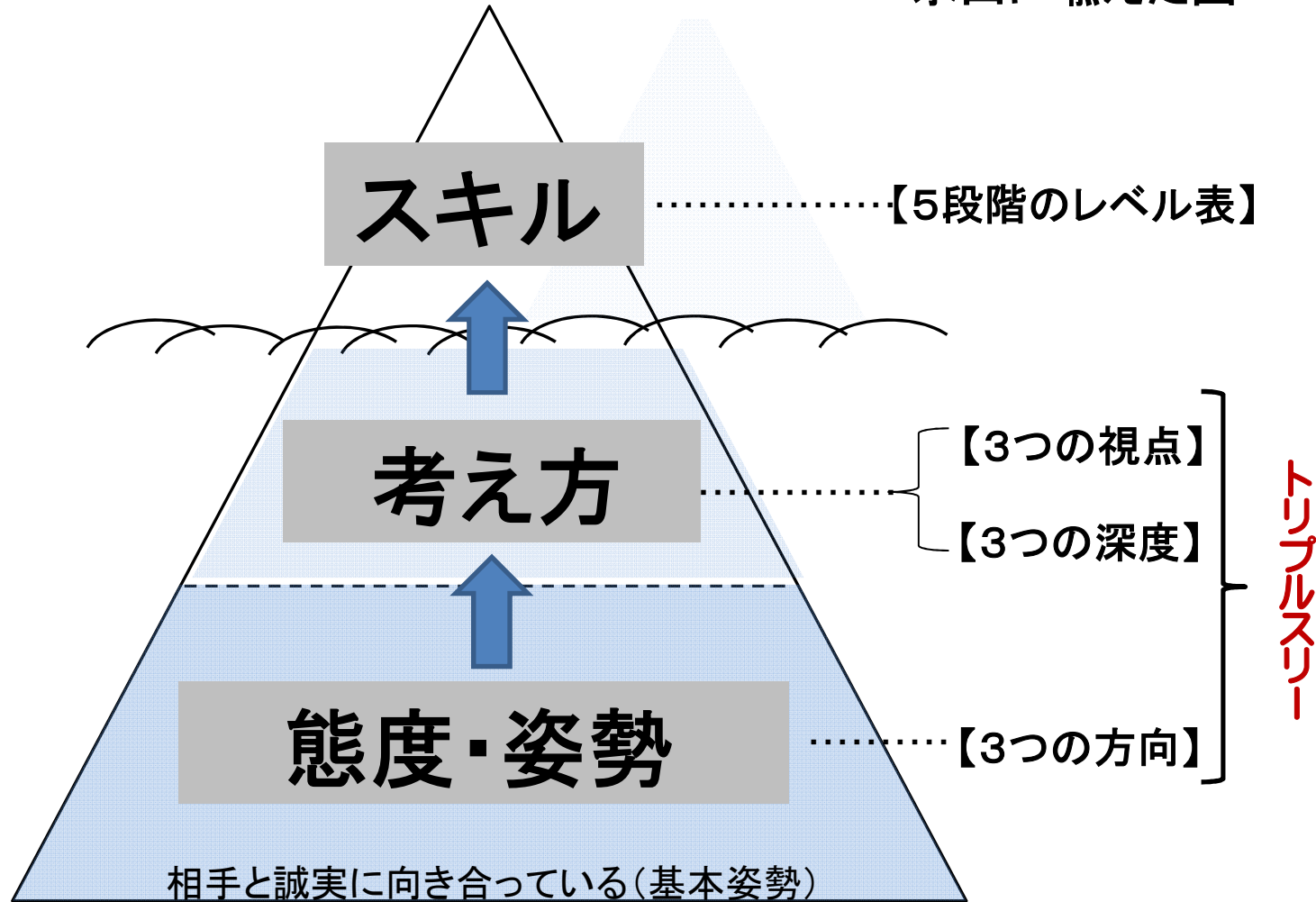
# 真・報連相の体系

「真・報連相」を  
氷山に喩えた図



# 真・報連相の体系

「真・報連相」を  
氷山に喩えた図





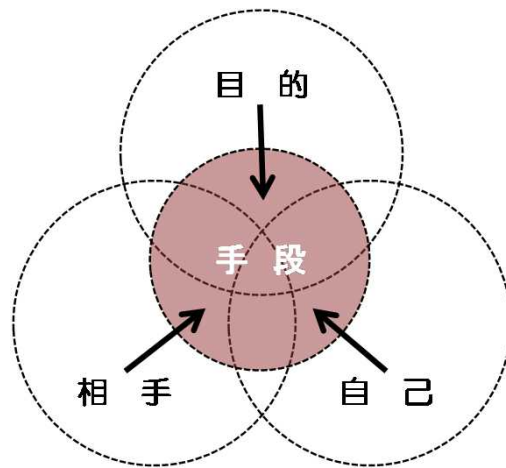
# 釣った魚 と 魚の釣り方

の 違い を説明してください。

# 目的 と 目標

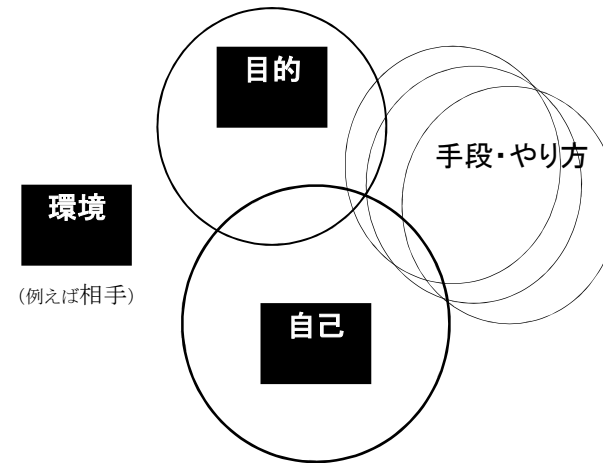
の 違い を説明してください。

# A



# B

「手段・やり方」を捉える、  
「3つの視点」



A、B について、グループ内で感想・意見の交換をしてください。

- give and take
- Win-Win
- 互恵

の 違い を説明してください。

(3)

「これから」  
のこと

# 【期待】 1

会員は、まず、  
自分の、「仕事の進め方の質」を  
真・報連相で高めてください。

【例示】:

目的思考の実践。

自己の視点。

意味の共有化。

自己の振り返り

關心

# 関心

①磁石・・・**情報**を吸い寄せる

②磁石・・・**人**を吸い寄せる

③強さと持続は、**創造**へ・・・



## 【期待】 2

真・報連相に関心を持って、  
磁石のように、  
説明事例を吸い寄せてください。

NHCへ事例を提供して、会員  
の共有教材を豊富にしましょう。

三菱会社社則の第七条から  
部分引用です。

「出社定刻中間暇アル  
トキハ他人担当ノ事務ヲ  
相助クベシ……」

## 【期待】 3

会員の勧誘・・・期待というよりお願いです。

(社)日本報連相センターの、これからの発展には、会員の増加が必要です。

ぜひ、皆様のお知り合いの人たちに  
真・報連相をご紹介の上、 **会員になって  
くださるよう、積極的に**お誘いください。

【期待1】 自分の、「仕事の進め方の質」を  
真・報連相で高める。

【期待2】 真・報連相に関心を持って、磁石の  
ように、説明事例を吸い寄せてください。

【期待3】 会員の勧誘 を お願いします。

● 互惠を目指す。世のため、人のため。

ご清聴  
ありがとうございます。

真・報連相 を楽しみましょう。

平成29年9月8日 糸藤正士